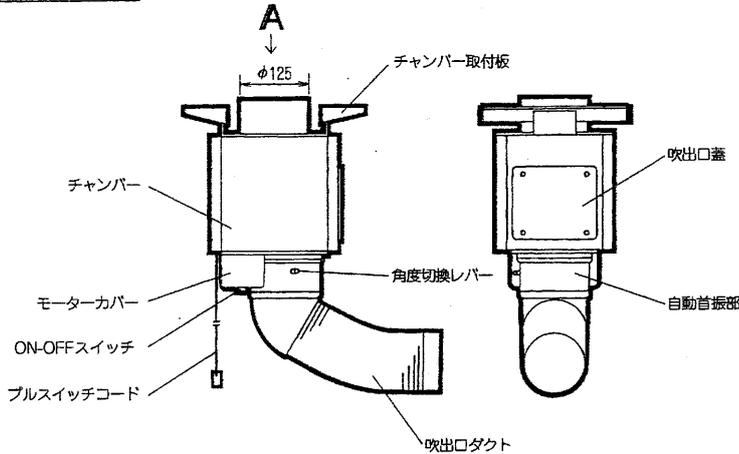


お願い 操作方法の項を見ながら、お客様に実際に操作していただき正しい運転のしかたをご指導ください。

各部の名称



本キットには次の部品が入っています。

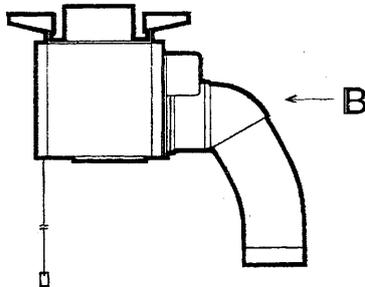
部品名	個数	部品名	個数
自動首振ユニット	1	平座金	4
吹出口ダクト	1	パネ座金	4
チャンバー取付板	2	ビス(M4×6)	1
ボルト(M10×16)	4	止めバンド	1
ナット(M10)	4	丸端子	6

ご注意

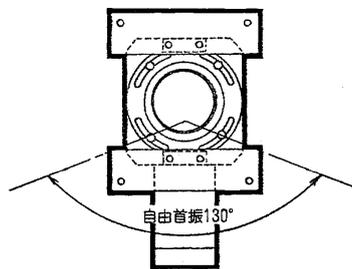
- 次のような場所での据付け、および使用は避けてください。
 - 切削油など鉱物油のたち込める場所。
 - 亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所。
 - シンナー、ガンソリンなど揮発性引火物を取扱う場所。

本製品の特徴

上図のような下面取付と下図のような側面取付が可能です。



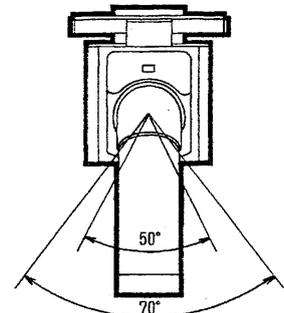
(下面取付の場合)



A 矢视图

130°の範囲でダクトの向きを自由に変えられ、そこを中心に、70°または50°の自動首振運転が可能です。
(最大200°の範囲内で可能)

(側面取付の場合)



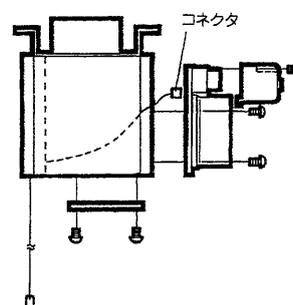
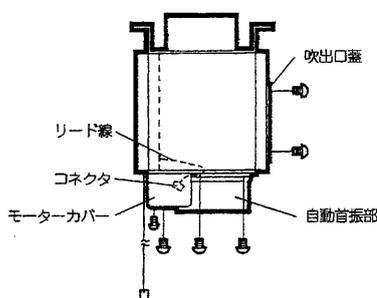
B 矢视图

50°または70°の自動首振運転が可能です。

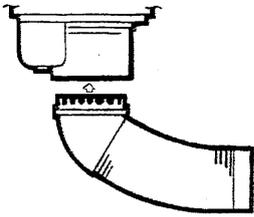
① 据付の前に

① 自動首振部の取付方向を決めてください。(出荷時は下面取付に設定されています。側面取付の場合は、以下の手順で変更してください。)

- 1) モーターカバーのビス(1本)をはずし、モーターカバーをあけて中のコネクタをはずします。
- 2) 自動首振部(ビス4本)と、吹出口蓋(ビス4本)をはずします。
- 3) 自動首振部と吹出口蓋を付けかえます。
- 2) コネクタをつなげてモーターカバーを取付けます。

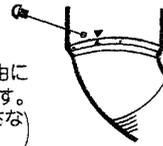


② 吹出口ダクトの取付方法



●吹出口ダクトの銘板の▲印と回転部の▼印を合わせるようにして、真っすぐに押し込んでください。
(確実にカチッと音がするまで押し込んでください。)
図のような範囲(130°)で自由に向きを変えることができます。
(この範囲以上は無理に回さないでください。)

※側面取付の場合



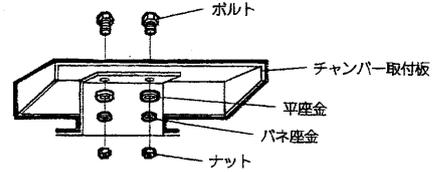
●吹出口ダクトと回転部の▼印を合わせて付属のビス(M4×6)で固定してください。
●側面取付の場合、自由首振(130°)はできません。

2 据付場所の選定

●据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。

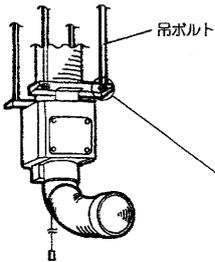
- 吹出口ダクトの首振範囲に障害物がないところ。
- 重量に耐える強度のあるところ。
- サービ作業が容易にできるところ。
- 高温熱源およびふく射熱から離れたところ。
- 塵埃の少ないところ。

●チャンパー取付板を使用する際は付属のボルト、ナットで下図の要領でしっかりと固定してください。

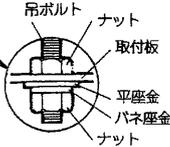


3 本体の据付

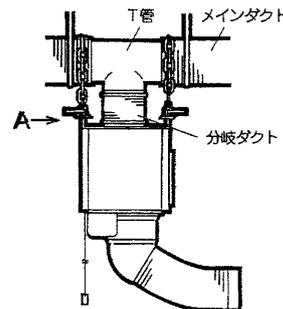
① 吊ボルトで固定の場合 (吊ボルト、ナット類は現地調達願います。)



●吊ボルトで固定の際は、M10用の吊ボルトを使用し、左図のように平座金、バネ座金を使用し、本体が水平になるように、強固に固定してください。



③ チェーンで吊り下げる場合



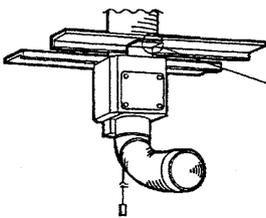
●チェーンは30kg-f以上の強度のチェーンを使用してください。
●左図の例のようにT管を利用して吊り下げる際、メインダクトはしっかりと吊ってください。



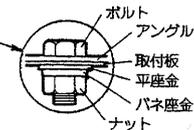
A 矢視図

●チェーンで吊る際上図のように、シャックルあるいは、開閉型チェーンを使用してください。
(シャックル JISB2801 呼び径 6 mm または 8 mm)

② アングルで固定の場合

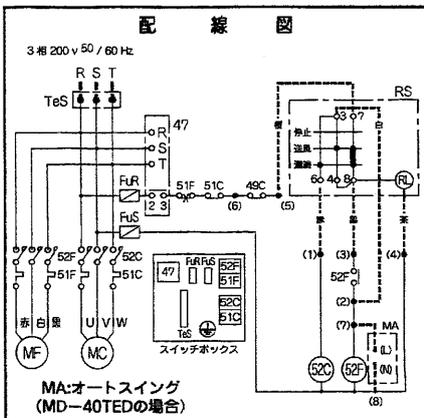


●ボルト、ナット類は、M10を使用してください。



4 電源電線

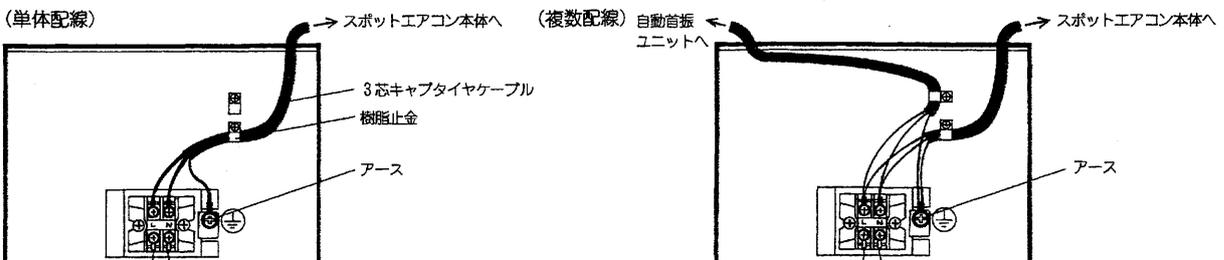
① スポットエアコン本体との電源配線 (接続の前に自動首振ユニットとスポットエアコンの電圧が合っているか確認してください。)



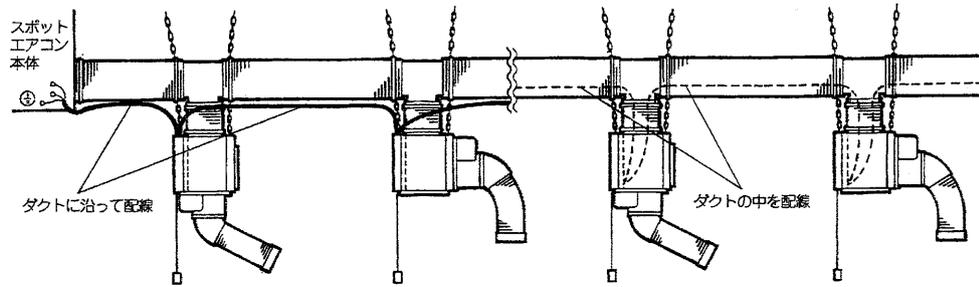
●三菱電機スポットエアコンは、左図の結線例のように、オートスイング接続端子がありますのでそこに結線してください。(但し、別電源も可能です。)
(端子Noはスポットエアコン本体の配線図銘板を参照してください。)
(左図の場合、端子No(7), (8))

- 接続には3芯キャブタイヤケーブル(0.75mm²)を使用し、うち1本でアースをとってください。
- 接続する電線は必ず、樹脂止金で固定してください。
- 接続の際は、スポットエアコン本体の電源コードを抜いて感電事故のないよう注意して行ってください。

② 自動首振ユニット側の配線



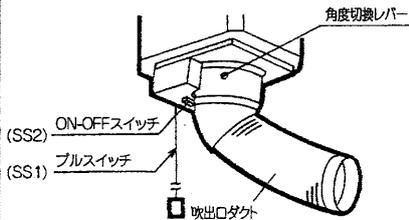
③ 配線処理方法（下記の例のような配線方式の場合最大10台までの接続が可能です。）



- ダクトに沿って配線する場合配線はダクトにビニールテープ等で固定してください。
- またダクトの中を通して配線することも可能です。（ただし、スポットエアコン本体との接続はダクトの外を通してください。）

5 操作方法

① 操作スイッチの選択



- 自動首振り運転の入/切をプルススイッチで行う場合、ON-OFFスイッチ(SS2)は常時「首振り」の状態にしておいてください。



- 吊り下げ位置が低くON-OFFスイッチ(SS2)で入/切を行う場合、プルススイッチ(SS1)は常時入った状態にしてください。

●プルススイッチで操作する場合

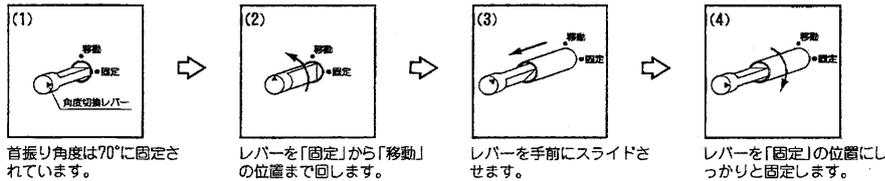
ON-OFFスイッチ(SS2)	プルススイッチ(SS1)	首振り
常時 ON	ON	運転
	OFF	停止

●ON-OFFスイッチで操作する場合

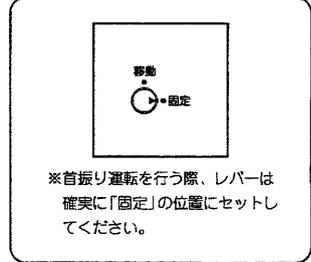
プルススイッチ(SS1)	ON-OFFスイッチ(SS2)	首振り
常時 ON	ON	運転
	OFF	停止

- プルススイッチ、ON-OFFスイッチが共に入っていないと運転しません。
- また、スポットエアコン本体から電源をとっている場合、本体が停止の状態では運転しません。

② 角度切換方法（首振り角度は70°で設定されています。50°に変更する際は次の手順で行ってください。）



- レバーを奥まで押し込んだ状態が首振り角度70°、手前に引いた状態が50°です。
- 50°から70°に変更する際は、上図の逆の手順で行ってください。
- 角度の変更を行う際は、必ず首振り運転を停止させてから行ってください。



6 作動確認

作動確認が終了しましたら、操作方法の項を見ながら、お客様に実際に操作していただき正しい運転のしかたをご指導ください。

- 電源配線工事が終了後、下記要領で作動確認してください。

- 1) スポットエアコン本体と連動して運転させる場合。
- プルススイッチ、ON-OFFスイッチ共にONにする
 - スポットエアコン本体を「停止」から「送風」または「温調」にする。

↓
首振り運転開始

- スポットエアコン本体を「停止」にする。

↓
首振り運転停止

- 2) 首振りユニット単体で運転される場合。

- プルススイッチ、ON-OFFスイッチ共にONにする。

↓
首振り運転開始

- プルススイッチ、ON-OFFスイッチどちらかのスイッチを切る。

↓
首振り運転停止

7 取扱上の注意

- ダクトが動く範囲内に、ダクトの動きを妨げるような物は置かないでください。
- 吹出口ダクトを曲げる際や、首振り角度を変更する際は必ず首振りを停止させて行ってください。
- ダクトに露が付き滴下する場合がありますので、必要に応じて別売の防露テープ等をご利用の上防熱を施してください。